

○修学支援・キャリア形成支援・学生生活支援等

【学年担当教員】

各学年にそれぞれ1名の教員が学年担当教員として配置され、担当学年の学生に対し、授業や大学生活に関する連絡、指導助言を行います。

【グループ担任（看護学科）】

看護学科では、入学時から大学生活に適応するまでのサポートと将来の医療人としての成長を促すために、第1・2学年を対象として、グループ担任を設けています。学年毎に約10人のグループに分け、2グループに対して教員1名が担当します。

【学生支援メンター制度（医学科）】

医学科では、学生が早期に大学に適応するために、第1～4学年を対象として、メンター制度を設けています。学年毎に約10名のグループに分け、各グループに1名の教員が担当します。

【オフィスアワー】

学生からの授業や履修に関することの質問や相談等に応じるため、オフィスアワー設けています。各教員のオフィスアワーは、履修要項等で確認できます。

【何でも相談窓口】

大学生活全般において、相談しようとしてもどこに相談すればよいのかわからない時に、気軽に相談できるよう学務課に「何でも相談窓口」を設置しています。

【ガイダンスの実施】

入学時に新生及び編入生を対象にガイダンスを実施し、学生生活全般についての説明や授業の履修方法等について説明を行います。

【投書箱「学生の声『ひとことふたこと』」の設置】

学内に投書箱を設置し、学生のニーズを把握して教育環境の改善を行っています。

【「学生と教育担当副学長、学科長との意見交換会」の実施】

学生の意見や要望を支援方策に反映させるため、毎年、「学生と教育担当副学長、学科長との意見交換会」を実施しています。

【学生の健康管理】

保健管理センターにおいて、定期健康診断の他、健康相談や応急措置等を行っています。また、カウンセラーによるメンタル相談も行っています。

【ハラスメント等相談員の配置】

本学では、ハラスメントは人権に関わる重要な問題と位置づけ、被害者の相談を受ける学内相談員を置いている他、外部相談窓口も設置しています。